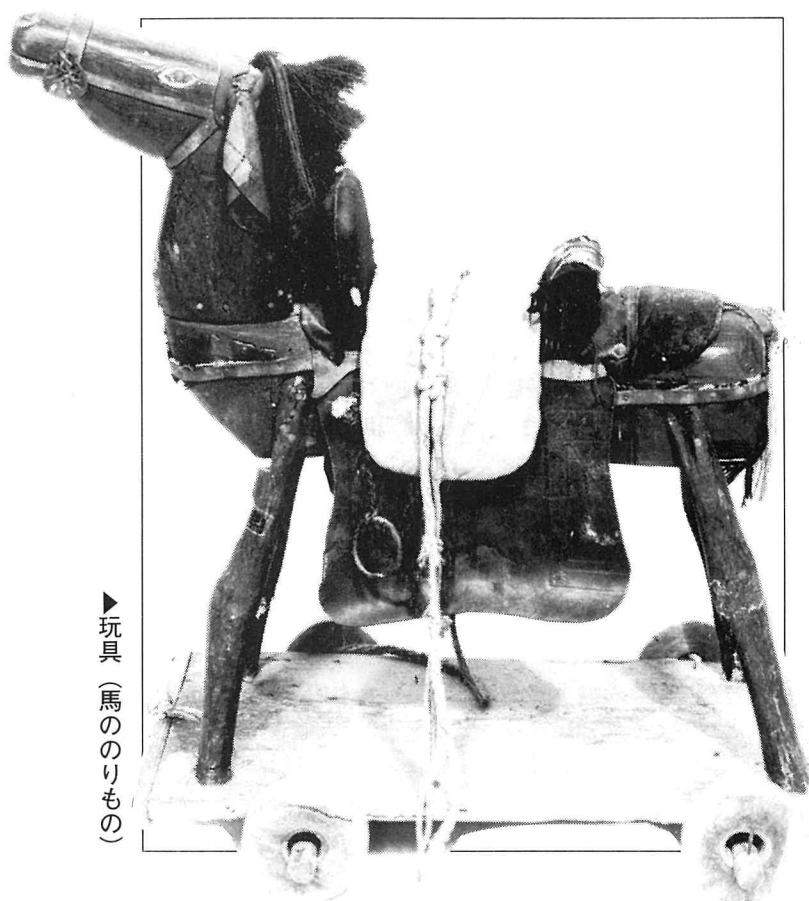


民俗博物館だより

Vol. IX No. 2

1988. 1. 30



▶玩具(馬ののりもの)

目 次

ビデオ学習室の意義と映像資料収録業務	1
ビデオ学習室の番組一覧表	4
民俗資料聞き書き短信 — 民具と伝承に関する報告 —	
① 奈良市中ノ川の宮座の年中行事	8
② 愛染さんのまつり	9
③ 桜井市多武峯の運搬方法	10
民俗公園だより・お知らせ	11

ビデオ学習室の意義と映像資料収録業務

大 宮 守 人

1. はじめに

昭和62年1月20日にオープンしたビデオ学習室については館だより Vol.・XⅢ No.1～2 (合併号) に概報しましたが、現在までの間にいくつかの微調整を実施し、一層安定した状態で稼動中です。

また、11月には100時のビデオプロジェクター及び関連設備が2階講義室と展示室に一面ずつ設置され、当館の映像資料が団体利用時にもその価値を十二分に発揮できるようになりました。100時の大画面は普通のテレビ画面では得られない臨場感があり、利用した小学生の団体にも好評でした。席ごとに40近くの番組が自由選択できるビデオ学習室の視聴席はその内容に関心を持って利用するのに適したシステムであり、予備知識を持たない小学生などの団体利用にあたっては、引率者が当館を下見された段階で番組の選択をし、当日はその番組を指定して利用される場合が多い状況でした。このような利用では、100名程度の団体が一斉に同一番組を視聴し得るビデオプロジェクターが最適であり、またビデオ学習室の意義及び利用法について予備知識を与える場ともなっています。なお、この設備の利用については、事前に申し出ていただくことになっていますので団体利用の下見の折に利用の日時とビデオ学習室の番組の中から目的に合ったものをご指定ください (ビデオ学習室の番組一覧表参照)。

2. 当館の映像設備

博物館施設などにおける映像提示の方法としては、展示導線の中に組み込み、適宜必要な導線内での提示と、映像資料を資料コーナーに集約して展示導線と切りはなして提示するという二つの方式に大別することが出来ます。

前者では、解説の目標にあわせたストーリーの流れの一環、あるいは独立した映像展示

コーナーとして、後者は展示等に関連する映像資料を自由検索して一層関心を高かめたいただくコーナーとして有用な方法です。

当館では前者及び後者を併用しており、展示室には、三面マルチオートスライドによる映像コーナーと廊下側に100吋ビデオプロジェクターを設置しております。三面マルチオートスライドでは現在「はたおりー女の仕事」と題し、かつては家のくらしにおける重要な女性の生活技術の一つであった機織の工程を静止画面の組み合わせで表現し今と昔のくらしぶりの違いの一端を紹介しております。比較的単純な構造の装置ですがW180×H90cmの画面を三等分して三台のスライド映写機から個々に投映し、横長の一画面を構成するこの装置は、画面転換の面白さ、美しさの点では捨て難い良さがあり、一例を取り上げて民俗資料の意義等を概説するコーナーとして昭和49年11月の開館以来維持しているところです。

また、ビデオプロジェクターは、大型ビデオシステム整備事業の一環として講義室及び展示室廊下側に昭和62年度予算によって新設されたものです。展示室廊下側のプロジェクターは、入館者に対し当館からのお知らせや、講義室での催し物の様子などの他、ビデオ学習室の映像資料を100名以上の団体でご利用いただく場合、講義室 (定員100名) の設備機器とあわせて活用すれば、あらかじめ選択した資料を大勢で一斉に利用することも出来るので春秋など団体利用が重なる時期のこうした



ビデオ学習室の視聴席

②棕櫚晒場作業〔了〕

チバオモテの原料となる棕櫚の若葉（^ひ若葉とも呼び、梅雨の後に出るものを採る）を集荷、煮沸して紀ノ川の河原で天日乾燥して、奈良県桜井及び埼玉県川越の履物表産地へ出荷する仕事が、和歌山県かつらぎ町東浜田で行なわれて来ましたが、人件費の高騰などのため最後の作業風景となる可能性が大となったため、チバオモテつくりの関連技術として急遽簡易型ビデオで収録。

③タヌキの手抜き〔了〕

高級な毛筆の材料として使用される日本産のタヌキの荒毛を抜き、精選して出荷する仕事は今日国内では菟田野町岩崎のただ一軒のみになったということで、奈良筆の影で受け継がれて来た地道な手技として貴重なもの。

④鹿の毛切り〔予定〕

これも、筆や友禅染めの刷毛の主要な材料である鹿の毛を皮から切り取るという地味な手技、これに至るまでの鹿皮の加工工程とあわせて収録。

⑤鹿皮のいぶし〔予定〕

武道具などに使う鹿皮の表面を黄色に染め耐久性等を高める技法は、藁の白煙の中で営まれる苛酷な仕事として国内で行うのはめずらしい状況にある。

⑥トチモチつくり〔了〕

栃の木が自生する主に奥吉野地方（十津川村玉置川）の栃の実の採集からアク抜きを経てトチモチに仕上るまでの工程を収録。

⑦オエモチつくり〔了〕

晒しが足りないものを食べると血を吐くといわれる、ヒガンバナの球根を念入りにアク抜きして食べたという山村十津川村の食物、オエモチつくりを再現して収録。

⑧葛根掘り〔予定〕

有名な吉野葛の原料（葛根）を冬の雑木林で見つけて掘り出し、打ち砕いて沈澱をくりかえし、精製して吉野葛となるまでの工程を収録。

本年度の収録対象は以上のとおりですが、今後とも忘れられゆく生活・生産技術等の収録を続けてゆきたいと考えております。

5. 保存と活用

こうしてとりあえず収録した映像は保管され必要な時に検索し利用できてこそ資料としての価値が発揮されるわけです。

現在稼動中のビデオ学習室のシステムは保存活用システムの合理化された一典型といえます。つまり、資料として価値のあるものをあらかじめ分類してビデオディスクにプレスし、これを常時再生機にセットしておけば、簡単なキー操作で検索視聴することのできる機能は、視聴覚資料の特性を最大限に発揮させ得る点で理想的なものといえます。

今後も、あらたに収録した映像は、分類し、編集録音を施してビデオディスクにプレスし、資料として活用し易い姿にしていけることが最も必要で、最大の活用性を得る方法といえましょう。

因に、VHDビデオディスクの容量は両面で120分、検索がスピーディーでビデオテープに比べ耐摩耗性及び保存性にすぐれている反面、プレス工程により製作されるためビデオテープ方式に比べ録画機能の面では即用性に欠ける点が短所です。しかしまたこの点が保存性にすぐれる要因ともなっているわけです。

但し、こうしたビデオディスクにプレスするまでには、ビデオテープによって編集、録音されており、ビデオディスクの原版はビデオテープであり、これはやはり保存しておかなければならないという現実問題があります。

これの保管にあたっては、湿気やカビの発生に特に注意を要します。極薄の磁気テープは、湿気に合うと密着し易く、またカビの発生等を誘発して磁性体の塗布面を剝離させて画質を落としたりして実用に耐えない状態となる可能性が1吋テープなどの大型テープになる程高いといわれています。

ともあれ、ビデオ学習室という理想的な保存活用システムをさらに発展させるため、あらたな資料の蓄積と、様々な活用に対応し得るよう種々の充実を図って行きたいと考えております。

⑨〔了〕はビデオ収録の終わったことを、

〔予定〕は今年度中に収録予定を意味する。

ビデオ学習室の番組一覧表

① ビデオディスク方式により視聴するもの 計 174番組 (約600分)

1. 祭礼年中行事(Ⅰ) (冬のまつり・春のまつり)

席No.	リストNo.	番組名	収録場所	(分・秒) 備考
1	A 1	高田のいのこまつり(その1)ーまつりの準備ー	桜井市高田	5' 9"
〃	〃 2	〃 (その2)ーお仮屋こわしと直会ー	〃	4' 49"
〃	〃 3	〃 (その3)ー灯明消しと直会ー	〃	3' 42"
〃	〃 4	河合の山の神まつり	吉野郡下北山村河合	1' 49"
〃	〃 5	春日若宮おんまつり	奈良市春日野町	5' 33"
〃	〃 6	下市恵比須神社の初市	吉野郡下市町	1' 16"
〃	〃 7	新泉の野神まつり	天理市新泉	3' 37"
〃	〃 8	今里の 〃	磯城郡田原本町今里	2' 41"
〃	〃 9	六県神社のおんだまつり	〃 川西町保田	8' 10"
〃	〃 10	平尾のおんだまつり	宇陀郡大宇陀町平尾	8' 14"
〃	〃 11	広瀬神社のおんだまつり	北葛城郡河合町川合	4' 7"
〃	〃 12	野依のおんだまつり	宇陀郡大宇陀町野依	1' 47"
〃	〃 13	飛鳥坐神社のおんだまつり	高市郡明日香村飛鳥	3' 53"
〃	〃 14	吉野水分神社のおたうえまつり	吉野郡吉野町吉野山	3' 53"

2. 祭礼年中行事(Ⅱ) (初春のまつり)

席No.	リストNo.	番組名	収録場所	(分・秒) 備考
1	B 1	陀々堂の鬼走り	五條市大津	1' 28"
〃	〃 2	弓手原のオコナイ(その1)ーオコナイの準備ー	吉野郡野迫川村弓手原	4' 2"
〃	〃 3	〃 (その2)ー三日の行事・朝ー昼ー	〃	3' 25"
〃	〃 4	〃 (その3)ー三日の行事・夜ー	〃	6' 17"
〃	〃 5	〃 (その4)ー四日の行事ー	〃	2' 50"
〃	〃 6	観音寺のランジョウ	山辺郡都祁村針	2' 18"
〃	〃 7	各地のカンジョウかけ	〃	1' 11"
〃	〃 8	槻原の 〃	生駒郡平群町槻原	3' 22"
〃	〃 9	江包・大西のお綱まつり	桜井市江包・大西	4' 38"
〃	〃 10	河合の弓矢まつり	吉野郡下北山村河合	3' 32"
〃	〃 11	藤井のオニウチ行事	天理市藤井	4' 3"
〃	〃 12	東大寺の修二会(その1)ー別火ー	奈良市雑司町	3' 29"
〃	〃 13	〃 (その2)ー本行・食堂作法ー	〃	3' 24"
〃	〃 14	〃 (その3)ーお水取りー	〃	4' 39"
〃	〃 15	〃 (その4)ー走りの行法ー	〃	3' 17"
〃	〃 16	〃 (その5)ーダッタン行法ー	〃	3' 49"

3. 祭礼年中行事(Ⅲ) (夏のまつり)

席No.	リストNo.	番組名	収録場所	(分・秒) 備考
2	A 1	小原の虫送り	宇陀郡室生村小原	2' 40"
〃	〃 2	中山田の 〃	天理市中山田	3' 53"
〃	〃 3	田原本町の祇園まつり(その1)ーたてやまつりー	磯城郡田原本町	3' 39"
〃	〃 4	〃 (その2)ーまつりの当日ー	〃	4' 24"
〃	〃 5	和爾下神社の祇園まつり	天理市樺本	3' 14"
〃	〃 6	八木の愛宕まつり	橿原市八木	2' 40"
〃	〃 7	率川神社の三枝まつり	奈良市本子守町	3' 19"
〃	〃 8	石上神社の夏越の祓い	天理市石上	1' 49"
〃	〃 9	笛吹神社の夏越のまつり	北葛城郡新庄町笛吹	1' 21"
〃	〃 10	綱越神社のおんばらまつり	桜井市三輪	2' 24"
〃	〃 11	八坂神社の夏まつり	吉野郡西吉野村	2' 53"
〃	〃 12	上之郷滝倉神社七月当のまつり	桜井市滝倉	3' 40"
〃	〃 13	金剛山転法輪寺のレンゲまつり	御所市高天	4' 17"
〃	〃 14	蔵王堂蓮華会カエルとび	吉野町吉野山	3' 25"
〃	〃 15	上深川の富士垢離	山辺郡都祁村上深川	2' 5"
〃	〃 16	登弥神社の御湯	奈良市石木町	2' 41"
〃	〃 17	ほうらんやまつり	橿原市東坊城町	2' 50"
〃	〃 18	東佐味の六斎念仏	御所市東佐味	3' 20"
〃	〃 19	木津川の祈禱念仏	東吉野村木津川	5' 15"

4. 祭礼年中行事(Ⅳ) (秋のまつり)

席No.	リストNo.	番組名	収録場所	(分・秒) 備考
2	B 1	門僕神社の秋まつり	宇陀郡曾爾村今井	4' 36"
〃	〃 2	御杖神社の秋まつり	宇陀郡御杖村神楽	2' 45"
〃	〃 3	丹生川上神社中社の秋まつり	吉野郡東吉野村小	4' 17"
〃	〃 4	八幡神社の秋まつり	添上郡月ヶ瀬村桃香野	3' 40"
〃	〃 5	糸井神社の秋まつり	磯城郡川西町結崎	4' 23"
〃	〃 6	往馬坐伊古麻都比古神社の秋まつり	生駒市一分	1' 51"
〃	〃 7	神波多神社の秋まつり	山辺郡山添村中峯山	2' 58"
〃	〃 8	勝手神社の秋まつり	吉野郡野迫川村北股	3' 1"

席No.	リストNo.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
2	B 9	水越神社の秋まつり	奈良市 ^{みやうち} 邑地町	7'28"
〃	〃10	長尾神社の秋まつり	奈良市阪原町	5'28"
〃	〃11	白山神社の秋まつり	宇陀郡室生村 ^{うたの} 竜口	5'46"
〃	〃12	戸隠神社の秋まつり	奈良市須川町	2'28"
〃	〃13	天神社の秋まつり	大和高田市本町	2'30"
〃	〃14	八幡神社の秋まつり	御所市川合	2'9"
〃	〃15	九頭神社の秋まつり	奈良市狭川町	3'58"

5. 民俗芸能 I (神楽・題目立・田楽)

席No.	リストNo.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
3	A 1	桧原神社の神楽	桜井市三輪町	2'26"
〃	〃2	春日の社伝神楽	奈良市春日野町	5'57"
〃	〃3	春日大社の田舞	〃	3'47"
〃	〃4	獅子舞 一カマド祓いー	宇陀郡室生村室生	2'31"
〃	〃5	室生竜穴神社の獅子舞	〃	6'24"
〃	〃6	門僕神社の獅子舞	宇陀郡曾爾村今井	3'17"
〃	〃7	白山神社の獅子舞	宇陀郡室生村竜口	4'50"
〃	〃8	神波多神社の獅子舞	山辺郡山添村中峯山	1'27"
〃	〃9	菅野の獅子祭り	宇陀郡御杖村菅野	1'28"
〃	〃10	上深川の題目立	山辺郡都祁村上深川八柱神社	3'53"
〃	〃11	長尾神社の田楽	奈良市阪原町	4'50"
〃	〃12	水越神社のじんばい	奈良市 ^{みやうち} 邑地町	2'55"
〃	〃13	神波多神社の田楽	山辺郡山添村 ^{うたの} 中峯山	2'17"
〃	〃14	春日若宮おんまつりの田楽	奈良市春日野町	4'57"
〃	〃15	丹生神社の田楽	奈良市丹生町	2'45"
〃	〃16	九頭神社の田楽	奈良市狭川町	3'29"

6. 民俗芸能 II (風流・能・狂言・人形浄瑠璃)

席No.	リストNo.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
3	B 1	風流		5'35"
〃	〃2	丹生川上神社の太古踊り	吉野郡下市町丹生	3'36"
〃	〃3	大柳生の太鼓踊り	奈良市大柳生町	3'48"
〃	〃4	篠原踊り	吉野郡大塔村篠原	4'41"
〃	〃5	十津川村の大踊り		5'19"
〃	〃6	天誅踊り	吉野郡大塔村天辻	2'49"
〃	〃7	阪本踊り	吉野郡大塔村阪本	8'47"
〃	〃8	大野のイサメ踊り	宇陀郡室生村大野	1'42"
〃	〃9	国栖奏	吉野郡吉野町南国栖	3'15"
〃	〃10	翁舞一奈良豆比古神社・山添村春日の春日神社	奈良市奈良坂町・山添村春日	4'53"
〃	〃11	天川狂言	吉野郡天川村坪之内	5'56"
〃	〃12	惣谷狂言	吉野郡大塔村惣谷	4'56"
〃	〃13	中峯の人形浄瑠璃	〃 中峯	1'37"
〃	〃14	乙田町の人形浄瑠璃	生駒市乙田町	1'20"

7. 生産・生業

席No.	リストNo.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
4	A 1	奈良盆地の稲作		5'22"
〃	〃2	山の仕事(その1) ー山林の手入れー		2'33"
〃	〃3	〃 (その2) ー皆伐ー		4'55"
〃	〃4	〃 (その3) ー搬出ー		7'23"
〃	〃5	大和高原のお茶づくり		3'19"
〃	〃6	国栖の紙すき	吉野郡吉野町窪垣内	2'36"
〃	〃7	三輪そうめん	桜井市三輪	3'49"
〃	〃8	下市の神酒口つくり	吉野郡下市町下市	1'20"
〃	〃9	下市の三宝づくり	〃	1'13"
〃	〃10	高山の茶釜づくり	生駒市高山町	1'50"
〃	〃11	奈良晒	添上郡月ヶ瀬村尾山	3'15"
〃	〃12	野迫川の経木づくり	吉野郡野迫川村今井	2'37"
〃	〃13	〃 箸づくり	〃 北股	2'6"
〃	〃14	大塔村惣谷のツボ杓子づくり	吉野郡大塔村惣谷	5'5"
〃	〃15	月ヶ瀬の烏梅づくり	添上郡月ヶ瀬村尾山	3'35"
〃	〃16	奈良の一刀彫り	奈良市油留木町	5'13"
〃	〃17	十津川のゆうべしづくり	吉野郡十津川村武蔵	3'42"

8. 民間信仰

席No.	リストNo.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
4	B 1	四季農耕図の絵馬		2'54"
〃	〃2	雨乞いの絵馬		3'43"
〃	〃3	芸能の絵馬		4'19"
〃	〃4	祈願の絵馬		3'54"
〃	〃5	宝山寺の祈願絵馬	生駒市宝山寺	2'14"
〃	〃6	古絵馬	当麻寺・秋篠寺・金峯山寺	1'43"
〃	〃7	祭礼・娯楽の絵馬		3'13"
〃	〃8	元興寺の地藏会	奈良市中院町	2'42"

席No.	リストNo.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
4	B 9	帯解寺の子安地藏	奈良市今市町	1'54"
〃	〃10	舟生の三日地藏	〃 丹生町	2'18"
〃	〃11	路ぼうの地藏	奈良市内	2'17"
〃	〃12	病気をなおす地藏		2'41"
〃	〃13	大和各地の地藏		3'45"
〃	〃14	南都の寺々の地藏菩薩像		3'47"
〃	〃15	奈良町の庚申信仰	奈良市北新屋町	1'43"
〃	〃16	山上ヶ岳大峯山寺の戸開式	吉野郡天川村洞川	2'16"
〃	〃17	吉野山と大峯信仰	〃 吉野町吉野山	2'59"
〃	〃18	天川村洞川と大峯信仰	〃 天川村洞川	2'49"
〃	〃19	山上ヶ岳の行場	〃 天川村洞川、山上ヶ岳	4'16"
〃	〃20	下北山村前鬼と大峯おくがけ	〃 下北山村前鬼	1'29"
〃	〃21	十九夜講	奈良市狭川町	3'48"

9. 大和の民家・環濠集落・家並

席No.	リストNo.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
5	A 1	吉川禎一家住宅	橿原市山之坊町	2'16"
〃	〃 2	吉川順作家旧住宅	大和民俗公園(元橿原市中町)	1'52"
〃	〃 3	村井家住宅	北葛城郡新庄町南道穂	2' 6 "
〃	〃 4	中村家住宅	御所市名柄	1'22"
〃	〃 5	菊家住宅	添上郡月ヶ瀬村桃香野	1'59"
〃	〃 6	今井町の民家	橿原市今井町	1'18"
〃	〃 7	栗山家住宅	五條市五條1丁目	2' 1 "
〃	〃 8	細川家住宅	奈良市南城戸	1'24"
〃	〃 9	藤岡家住宅	〃 元興寺町	2'26"
〃	〃10	鹿沼家旧住宅	大和民俗公園(元大和高田市永和町)	1'40"
〃	〃11	徳井家住宅	吉野郡川上村高原	3' 7 "
〃	〃12	乾家住宅	〃 西吉野村滝	1'26"
〃	〃13	西田家住宅	〃 〃 鹿場	1'41"
〃	〃14	堀家住宅	〃 〃 賀名生	2' 2 "
〃	〃15	辻家住宅	〃 十津川村五百瀬	2'13"
〃	〃16	稗田の環濠	大和郡山市稗田町	4'16"
〃	〃17	膳夫の環濠	橿原市膳夫町	2'16"
〃	〃18	東新堂の環濠	桜井市東新堂	1'23"
〃	〃19	阪手の環濠	磯城郡田原本町阪手	1'16"
〃	〃20	保津の環濠	〃 〃 保津	4'11"
〃	〃21	法蓮町の家並	奈良市法蓮町	1'57"
〃	〃22	下市の家並	吉野郡下市町下市	2' 9 "
〃	〃23	柳本の家並	天理市柳本町	1'55"
〃	〃24	田原本の家並	磯城郡田原本町	3' 7 "
〃	〃25	奈良町の家並	奈良市	1'30"
〃	〃26	大和高田の家並	大和高田市	3'44"

10. 大和の街道・大和の民謡・わらべ唄・祭礼年中行事追捕(初春のまつり)

席No.	リストNo.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
5	B 1	暗がり越え旧奈良街道	生駒市・奈良市	5'47"
〃	〃 2	旧伊勢街道(その1)	桜井市初瀬	2'24"
〃	〃 3	〃(その2)	宇陀郡榛原町	2'33"
〃	〃 4	旧伊勢街道(その3)	宇陀郡曾爾村・御杖村	3'26"
〃	〃 5	〃(その4)高見越え	吉野郡東吉野村	7'13"
〃	〃 6	旧高野熊野街道	〃 野迫川村・十津川村	4'23"
〃	〃 7	芋峠・壺阪峠	高市郡高取町	4'40"
〃	〃 8	紙漉き唄	吉野郡吉野町窪垣内	3'13"
〃	〃 9	紙そ打ち唄	〃	2'45"
〃	〃10	祝い唄	〃 下北山村寺垣内	2'05"
〃	〃11	わらべ唄 一レンゲつもか花つもかー	奈良市内	2'45"
〃	〃12	三輪の年迎え	桜井市三輪町	3'33"
〃	〃13	唐招提寺の修正会 一餅談義	奈良市五條町	2'51"
〃	〃14	薬師寺花会式 一花ごしらえー	奈良市菩提山町・西ノ京町	3'41"
〃	〃15	〃	奈良市西ノ京町	3'25"
〃	〃16	〃 一鬼追いー	〃	3'03"

2 1/2 吋(VHS)ビデオテープ方式により視聴するもの

種 別	席No.	整理No.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
祭礼 年中行事	6	1	大神神社饗道祭	桜井市三輪町	1'49"
	〃	2	しめ縄づくり	宇陀郡曾爾村伊賀見	3'08"
	〃	3	天川村のお朝拝	吉野郡天川村中越・河合	3'07"
	〃	4	川上村のお朝拝	〃 川上村神之谷	3'15"
	〃	5	吉祥草寺のどんど	御所市茅原	5'11"
	〃	6	興福寺の鬼追い	奈良市登大路町	2'18"
	〃	7	手向山神社のお田植	〃 雑司町	3'10"
	〃	8	東大寺修二会と竹送り	京都府綴喜郡田辺町	3'00"
	〃	9	吉野川の雛流し	五條市南阿太・源龍寺	2'47"
	〃	10	藤原町の涅槃会	奈良市藤原町	2'13"

種 別	席No.	整理No.	番 組 名	収 録 場 所	(分・秒) 備 考
生産・生業 祭礼 年中行事	6	11	矢田原の子供涅槃	奈良市矢田原町	4' 30"
	〃	12	興福寺の涅槃会	〃 登大路町	2' 00"
	〃	13	春日大社の春日祭	奈良市春日野町	4' 43"
	〃	14	蛇穴の汁かけ祭—蛇曳き—	御所市蛇穴	4' 22"
	〃	15	大和神社のちゃんちゃん祭	天理市新泉	4' 45"
	〃	16	竜田大社の風鎮祭	生駒郡三郷町立野	3' 39"
	〃	17	金剛寺の灯笼流し	五條市野原	3' 15"
	〃	18	高雄神社の秋まつり—女の座—	桜井市北白木	4' 52"
	〃	19	大神神社の杉玉づくり	〃 三輪町	2' 39"
	〃	20	木地師（ロクロ師）	吉野郡吉野町宮滝	2' 21"
	〃	21	墨づくり	奈良市西ノ京町	4' 15"
	〃	22	井戸替え	大和郡山市天井 吉野郡下市町瀬ノ上	3' 06"
	〃	23	田原の祭文と祭文おどり	奈良市田原地区	6' 00" 奈良市公報公聴課協力
	〃	24	田原のおかげおどり	〃	6' 00" 〃
	〃	25	夏まつりの献燈	吉野郡下市町広橋・丹生	6' 00" 下市町情報センター協力
	〃	26	新住の八幡神社秋まつり	〃 〃 新住	6' 00" 〃
	〃	27	立石のお練り	〃 〃 立石地区	6' 00" 〃
	〃	28	下市の八幡神社の秋まつり	〃 〃 下市	6' 00" 〃
	〃	29	大聖寺の観音まつり	〃 〃 栄	6' 00" 〃
	〃	30	下市の地藏まつり（その1）	〃 〃 下市・立石	6' 00" 〃
	〃	31	〃（その2）	〃 〃 阿知賀字野々熊	6' 00" 〃
	〃	32	波比売神社の宮座まつり	〃 〃 栃原	6' 00" 〃
祭礼年中行事 生産・生業 農具づくりの伝承技術 竹を材料にした伝承技術	〃	33	岩郷神社・八幡神社の秋まつり	〃 〃 仔細	6' 00" 〃
	〃	34	下市のドンド	〃 〃 善城・立石	6' 00" 〃
	〃	35	下市の割箸づくり	〃 〃 下市・善城	6' 00" 〃
	〃	36	下市のお稲荷さん	〃 〃 才谷・立石・広橋	6' 00" 〃
	〃	37	鍵治屋	宇陀郡室生村染田	30' 00" 当館収録8ミリより
	〃	38	檜木屋	〃 菟田野町古市場	17' 00" 〃
	〃	39	竹箕	当館体験学習の記録 （橿原市今井町）	14' 33" 〃
	〃	40	藤箕	山辺郡山添村遅瀬	14' 38" 〃
	〃	41	竹籠	当館体験学習の記録 （吉野郡大淀町下瀬）	11' 6" 〃
	〃	42	番傘	〃 （ 〃 吉野町宮滝）	11' 50" 〃
木を材料にした伝承技術	〃	43	平杓子とツボ杓子	〃 （ 〃 大塔村篠原）	12' 38" 〃
	〃	44	割り箸	〃 （ 〃 下市町善城）	6' 32" 〃
	〃	45	桶	〃 （大和郡山市東岡町）	18' 10" 〃
植物繊維・ 果実を材料 にした伝承 技術	〃	46	紙すき	吉野郡吉野町窪垣内	20' 16" 〃
	〃	47	烏梅	添上郡月ヶ瀬村尾山	10' 00" 〃
	〃	48	麻織り	〃	13' 38" 〃
	〃	49	草鞋	当館体験学習の記録 （大和郡山市矢田町）	10' 23" 〃
祭礼年中行事 盆 行 事 奈良の伝統 工芸シリー ズ	〃	50	奈良市八島のお盆と六斎念仏	奈良市八島町	15' 22" 〃
	〃	51	御所市東佐味のお盆と六斎念仏	御所市東佐味	6' 40" 〃
	〃	52	奈良人形	奈良市商工観光課企画番組	12' 30" 奈良市商工課協力
	〃	53	毛筆	〃	15' 00" 〃
	〃	54	墨	〃	15' 00" 〃
	〃	55	奈良団扇	〃	13' 55" 〃
	〃	56	ばちる	〃	11' 52" 〃
	〃	57	奈良漆器	〃	13' 55" 〃
	〃	58	乾漆	〃	17' 43" 〃
	〃	59	赤膚焼	〃	16' 15" 〃
	〃	60	良弁杉	奈良県婦人児童課企画番組 （国際児童年記念番組）	11' 23" 本県児童福祉課協力
奈良のむかし 話シリーズ	〃	61	ありんこ通し	〃	11' 22" 〃
	〃	62	お田引いたん見たかえ	〃	11' 30" 〃
	〃	63	おむかえダヌキ	〃	11' 25" 〃
	〃	64	子育てゆうれい	〃	11' 10" 〃
	〃	65	ばかされ太郎吉	〃	11' 20" 〃
	〃	66	水がめのうなぎ	〃	11' 23" 〃
	〃	67	三枚のおふだ	〃	11' 25" 〃
	〃	68	おにとマメまき	〃	11' 25" 〃
	〃	69	奈良の大仏さん	〃	1' 56" 〃
	〃	70	みみずがさんびき	〃	1' 56" 〃
	〃	71	たんすながもち	〃	2' 00" 〃
祭礼年中行事	〃	72	宮座の祭	大和郡山市教育委員会企画の 16ミリ映画からビデオ化	17' 38" 大和郡山市社会教育 課協力

民俗資料聞き書き短信 — 民具と伝承に関する報告 —

1 奈良市中ノ川の宮座の年中行事

浦西 勉

談話者

久保田 松次郎 (明25)
池之畑 伊平 (明37)
杉田 谷夫 (大4)

昭和53年2月18日調査

毎年2月18日奈良市中ノ川の、三社神社脇の会所にてオコナイという行事がある。当日、12時ごろからその年の当屋（トーヤ）5名、岡本健・大浦昌之・新谷明・久保田松次郎・池之畑伊平各氏が旧観音堂（今は会所）に集合する。岡本健氏が年長であるので当屋頭という。なお当屋をつとめる義務のある人が当時42名が入っておりこの人達を宮座の人と言う。

オコナイ行事の前日、当屋頭の岡本健氏宅にて餅を搗き、御供を作る。御供は六重の白餅である。それと四角柱の御供を作っておく。御供は観音さんの前に42個の「六重の餅」(名称は、わからずこうよぶ)と三社神社の前に「角の餅」を供える。

当日の出席者は、当屋の5名、宮座の年長から5名（5人衆とよぶ。このうち68歳の人1名を神主と言う。）、下（宮座の若い人）2名と導師である。導師として昭和52年から壇家寺である奈良市の徳融寺（融通念仏宗）の僧侶がきてくれるようになった。それ以前は興福寺（歓喜天）や浄瑠璃寺から来てもらった。

当日、下図のように座わり、徳融寺さん（導師）が経をよみはじめる。導師が途中2回と最後1回の都合3回に「乱声」と言って直立すると、いっせいにネコヤナギの枝を板に打ちつけたり、太鼓、ホラガイなどを吹いたりして2分程さわぎたてる。行事全体の時間は約30分程であとは村人の話しあい（雑談）程度でその日はおわる。行事として今日形骸

化しているようであった。

伝承によると以前のこの日の行事におこなっていたことは次の通りである。

① 宮座の下（年若い人）から15人をヘヤといい、この人達が堂の中で太鼓をひっくりかえし（まくり）あばれまわった。

② ネコヤナギ（村人はイノコロと呼ぶ）を下から2人のスエザ（末座）の人がさがしてくる。そして、3寸の和紙に牛玉の印刷をすり、ネコヤナギにはさみこむ。これを牛玉づえといい村の軒数だけつくる。この牛玉づえはモミマキの時に水口に立てる。

③ 子供が堂のまわりを、イノコロの枝でたたきまわる。これをエンタタキと言う。

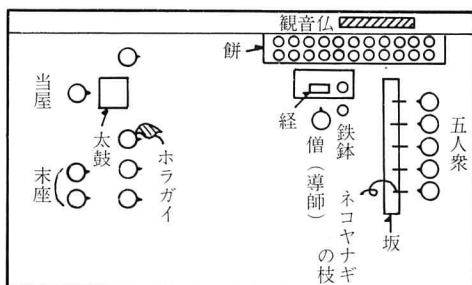
④ 袴をヘヤ（宮座の下から15人までの人）がつけていた。

以上は、今行なわれていない。

オコナイは宮座の人たちだけで行なっており当屋の5人はこの日で次の5人にひきついでもらう。オコナイに必要な用具は神主さんの家に保管する。その用具とは、ホラガイ、経典、鉄鉢、牛玉さんの版木、朱印である。

経典は表紙無記録であるが、あけた最初には「十一面悔過」とある。

また奥書は「丁時元文×戌未歳霜月二十有五日 自今以後枝見之人孔 写一遍廻向」「享和二壬戌歳霜月上八日筆者謹書 和羽添上郡中川邑 観音寺什物」とある。この経典にのっとり行なわれる。



中ノ川の宮座は昭和53年当時で42名。^{かみ}「上」(年齢の高い人)から5人が5人衆、68歳の人が神主。68歳の人がいなければ、出てくるまで今の人がつづけて行なう。宮座入りは12月6日にする。数え年15歳から座入りをする。長男は必ず入り、次男は希望者のみ入座。^{しも}下(年齢の若い15歳)から15人をへや、下から2人がシモザ、スエザと言う。

宮座の財産はある。オコナイ以外の宮座の年中行事は次のとおりである。

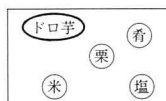
月 日	行事名	内 容	備考
1月12日	矢 切 り	やはネドの木でつくる。スエザの者が、ネドを切り、和紙で矢の羽根をつけ村中の家の数をつくる。この矢は家の屋根うらに掛けておくと、火よけになる。供えものは、ツルシカキ・コブ・シオなど。コンニャクを村の人は持って帰る。	今 は な し
2月18日	オコナイ	(今回調査報告参照)	今もやっている
7月20日	虫オクリ	笹に五色の紙をつけ太鼓を打ち村中をまわる。	今 は な し

8月21日	風の祈禱	百万遍のじゅずくりをする。	今もやっている
10月16日 10月17日	秋まつり	左の記録(5丁)によると宵宮、本宮の行事内容が記されている。 〔縦36cm×横15cm〕 昭和43年10月17日 三社神社祭典諸控 ※ 下記参照	今もやっている
12月6日	座 入 り	15才以上の男子が宮座に入る。	今もやっている

祭典買物控

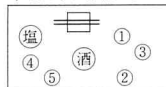
ごぎ(1枚)・小豆(餅米白舂に付2合の割合)・ごま(2合)塩(神饌用2合)塩(ごま塩2合)御神酒(1升)青のり(3把)しょうが(3個)長芋(3本)栗(3個)山出し昆布(3枚巾四寸長サ一尺)カワラケ(白五度二枚)(白三度六枚)・両口丸箸(座衆一人1膳ずつ)大根(3本)・半紙(座衆三十七人の場合五十枚)ごぼう(3本)鯉(三匹)・丸木鉢(三個)・燈心(一把)はこや箸(三膳分)玄米三升(精白にし神主より出す新穀のない場合、稲の穂を三穂一膳に、一穂ずつ洗米のせる。

宵宮神膳の組立御供物は神主持の儀三膳分



(その他式次第が記載される)

十七日祭日神膳の儀



- ① 洗米(三升五合三膳に座る)
- ② 焼物鯉(芯尾焼三膳にする)
- ③ 大根・半芋・長芋(三品を一組にして三膳分)
塩(三度カワラケニラ一様ずつ三膳分)
小出し昆布(巾四寸長一尺芯枚宛巻きくり三膳分)
- ④ 青海苔・しょうが・栗(三品を一組にして三膳分)
御神酒(本鉢に三膳分)
ハコ箸(三膳分)
- ⑤ 燈明(三度カワラケ)

② 愛染さんのまつり

横 山 浩 子

職人の世界では、その職種によって定まった守り神を持ち、これを祀る風習が見られることがある。

大工・左官・桶屋などの太子講、鍛冶屋・鋳物師の金屋子神信仰などはよく知られた例であろう。

今ではその仕事ぶりを実際に目にする機会も少なくなってしまったが、戦前までは庶民の衣生活と深く関わってきた紺屋でも、愛染明王、また下照姫尊(紺姫)をその仕事場に祀っていたものであった。

県内、室生村下笠間には現在も紺屋としてその伝統的な技法を守り継ぐ井上富夫氏がおられ(「藍染め」 奈良県立民俗博物館だより Vol. Ⅷ No. 2 参照)、ここでも愛染さんを祀り続けている。

愛染さんのアイは藍に繋がり、また愛欲の神であることは藍浴に通じるとされ、いつしか紺屋職人の守り神となったといわれている。

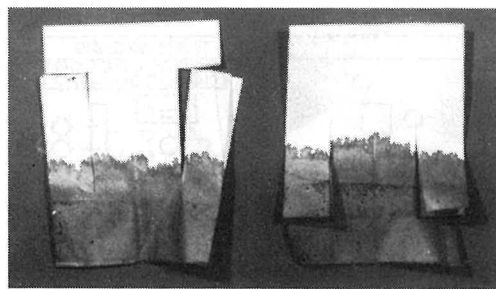
井上さんのお宅では愛染さんの祭日は年一

度、1月26日と定められており、平素は特になにもしないのが習いということである。

祀り方はごく簡素なもので、まず和紙を羽織、袴に見立てた形に切ったものを、各一枚用意し、祭の当日、仕事にかかる前にこれの裾部を一番新しく藍建した甕にちょっと浸けて、そのまま乾かしておく。

夕刻仕事を終えると愛染さんの神棚へこれを上げて、供物として大根を共に置く。

別に「御膳」として高膳に赤飯、香の物を添えたものを蓋を閉めた甕の一つの上に置き、こうして一年の仕事の無事を祈るのである。



▲愛染さんに供える羽織(右)と袴(左)

③ 桜井市多武峰の運搬方法

— 山地の運搬 —

徳 田 陽 子

桜井市多武峰の談山神社の周辺の山では、杉、桧の植林をしている。植林してから40年たつと杉は直径15cm、桧は直径20cm程の太さの幹になり、伐採する。伐採した材木は桜井の町の製材所へ運んだ。今回は、材木を山の上から6km離れた桜井の町まで運ぶ方法について、多武峰在住の上村茂雄氏（63歳）が子供の頃目にされたことを中心に書いておく。

戦前は、談山神社の参道は車（ギチ車も含む）通行禁止であった。だから、カチンボと呼ばれる男達が、材木を5本ぐらい一度に肩にかついで参道を通った。林木5本のうち1本だけ前へ少し長く出してかつぎ、休憩するときは長く出した1本の材木の先を電柱、あるいはざらざらした木肌ですべりにくい桜やもみじなどの木の枝にかけ、息杖で材木を下からささえて、肩から材木を少し浮かせて一息ついた。100mに1回ぐらい休憩した。

しかし、肩にかついで材木を運ぶのは重労働であり、時間もかかるので、夜のうちに、材木をギチ車に積んで談山神社の参道運ぶ人もあり、ギチギチという音が響くことがあったという。この音からギチ車とかギチコとか呼ばれるようになったのであろう。

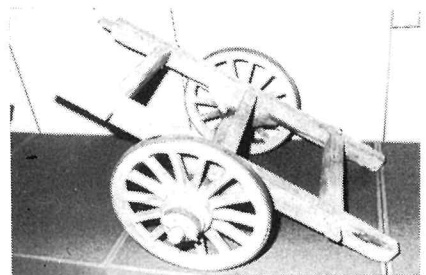
ギチ車（ギチコ）は小型二輪の荷車である。車輪は桧材、芯棒は椿材である。芯棒の上に桧材の台を置き、藤つるで結んで固定した。山に登るときは、台の部分を背中に当てて両手で芯棒をにぎってかついだ。山をけずってつくった60～90cm幅の道をギチ車は通った。目的地につくと、杉、桧の材木を、12～15本ぐらいをギチ車に前4、後6の割合で積んだ。ギチ車の後ろ側に材木の太い切り口の方を道をひきずり加減になるように積んで、山を下るときブレーキの役を果たすようにする。材木を2段積んで、その上に角2寸（6cm）の横木を置いてから3段目を積んだ。積み終わるとシュロ縄で結ぶ。そして、一方の車輪に輪にしたシュロ縄をかけ、その先に5cm幅の布をつけてそれを肩にかけてギチ車を引っぱ

った。ギチ車で運搬する作業は3～4人で組んで行なった。この仕事は、高等小学校卒業後13、14歳ぐらいから男がした。材木をギチ車に積むときに使うシュロ縄は、各家でシュロの木を植え冬の間に縄ナイをして作ったものである。

八井内からは広い道になり、大八車で材木を運んだ。大八車にはギチ車5台分の材木を積んだ。大八車12～13台が一緒に桜井の町まで1日2往復した。大八車は、八井内の2、3軒をはじめとして、自分の家で持っていた。大八車で運ぶときの服装は、上衣はシャツと「〇〇材木」等と印したハンテン、下衣は紺か白木綿のバッチに腹巻をした。頭にはハチマキをして横で結び、足は地下足袋をはいた。桜井の町からの帰路は上り坂なので、車の芯棒と結びつけた紐につないだ犬に大八車をひっぱらせて登った。大八車は昭和17、18年あるいは終戦頃まで使用した。

その後は、材木を専門に運ぶ業者が桜井の町にできた。運搬方法も大八車から馬力になり、さらにトラックへと変わった。材木の需要に応じて運搬もスピードが要求されるようになった。

多武峰の人々は日用品の大きい物（机等）から嫁入り道具まで、桜井の町で材木を降ろした後の大八車や馬力に積んで上まで運んだ。子供達も中学校になると桜井の町へ通ったが、帰りは馬力に乗せてもらった。多武峰や八井内等に住む人々にとって、大八車や馬力は、仕事だけでなく日常生活においても欠かせない運搬方法であったことがうかがわれる。



▲ギチ車（ギチコ）

民俗公園だより

植物と民俗 — ふくらし —

冬の園路を歩けばカサカサと音がするようだ。乾燥したクスギの葉が風のよわくなったところに溜る。音が景色の一部となっている。

公園の自然林を構成するのはアカマツ、クスギ、コナラを優占種とする二次林である。この林内の中層のところどころにネジキ、ナツハゼ、シャシャンボ、ヒサカキ、ソヨゴなどがある。早春の雑木林に彩どりをそえるミツバツツジ、ヤマツツジ、モチツツジもみられる。奈良県から京都府、三重県にいたる標高三百メートル～四百メートル以下の丘陵地によくみられる代表的な二次林である。

県東部、宇陀郡では正月の門かざりにアカマツとヒサカキとソヨゴの枝を束ねたものを、カド先の両側に二本たてる習慣がある。

ヒサカキはツバキ科の植物でサカキの少ない地方では、サカキの名でよく神事に使われている。姫サカキで小さなサカキから転じたものであろう。大和地方ではビシャコと呼ぶことが多い。葉の大きさとともに葉の緑の鋸

状のきょ歯の有無によってサカキとの区別は容易につく。

ソヨゴは宇陀地方ではフクラシと呼ぶ。一般的に膨ら柴と書き、葉が火にあうと葉のなかで水分が水蒸気となり、表皮のクチクラが丈夫なため膨らむことからきている。モチノキ科の樹木でモチノキ、ナナメノキなどと同じように正月ごろに紅い小さな実をつける。

その地方の植物相がそのまま人々の「くらし」のなかに反映している。宇陀郡の代表的二次林もまたアカマツ・モチツツジ林なのである。
(楨村 光司)



▲公園内の紅い実をつけたソヨゴ

催しもののお知らせ

奈良県100年記念 明治・大正・昭和生資料展

— ムラとイエのくらし —

奈良の近代100年を支えた庶民の生活資料

展示内容 ◇ムラのくらし—かんがい・運搬・交通・交易
◇イエのくらし—イエのくらしとあかりの変遷
◇ムラとイエのくらし(1)—子供の世界
◇ムラとイエのくらし(2)—ムラ・イエのいとなみ

と先祖をまつる風習
(昭和63年6月30日まで)

博物館・ビデオ学習室 — 公開中 —

奈良県内の祭や民俗芸能・わらべ唄・むかし話
くらしの中の伝承技術など約250番組。

大型ビデオ新設 (主に団体利用者用)

江戸時代の民家7軒 — 公開中 —

〔町家集落〕重文・旧白井家住宅、県文・旧鹿沼家住宅〔国中集落〕県文・旧吉川家住宅、県文・旧萩原家住宅、旧赤土家離座敷〔宇陀東山集落〕重文・旧岩本家住宅、旧松井家住宅〔吉野集落〕県文・旧木村家住宅

体験学習—むかしのたべものシリーズ— (定員50名)

年・月・日	テ — マ	講 師
63・2・7	トチモチづくり	松 浦 茂 広 氏
3・6	ヨモギダンゴづくり	城 野 賢 輝 氏 他

〔場 所〕当館講義室集合後、民家にて 〔時 間〕午後1時～4時
〔申込方法〕催し日の10日前から電話にて受付けます。ただし定員になりしだい締め切ります。 〔参加費用〕入館料のみ

民俗カルチャー講座—民家講座— (定員50名)

年・月・日	テ — マ	講 師
63・2・28	日本民家の時代的変遷 —古代から江戸時代—	奈良国立文化財研究所 建造物研究室長 宮本長二郎氏
3・13	古代民家の再生と復原	奈良大学教授 岡田 英男氏
3・20	臨地見学会 —追分本陣と梅林—	奈良国立文化財研究所 遺構調査室長 上野邦一氏

〔場 所〕当館講義室(臨地見学会は現地集合) 〔時 間〕午後2時～4時
〔申込方法〕2月21日までに往復はがきに住所・氏名・年令・電話番号を記入のうえお申し込下さい。なお、見学会のみの方はお断りいたします。
〔参加費用〕初回入館料と見学会の実費



なら・シルクロード博

1988. 4.24～10.23 奈良公園一帯/平城宮跡一帯



クリーンな心で
グリーンな奈良

すすめましょう! 親切・美化県民運動